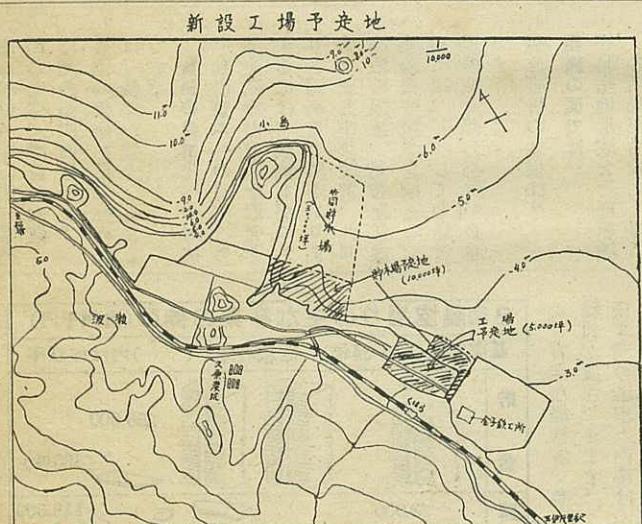


伊万里総合開発計画の第一歩



敷地調査の社長一行



「命あつてのものだれ」とは万人が口にするところ、それなればこそとよりの日々も定められたし、つがなく長命を保つた人に心からのよろこびと敬意がささげられるゆえんである

としよりを大切に

四 老人の日

今回施行された老人福祉法は、いままで市町村が行つてゐる各種の老人福祉事業を法律で次のように義務づけられておりますので、今後これらの事業は、いままでに増して充実し、老人の福祉はさらに増進するものと期待されます。

赤い羽根をどうぞ

十一月一日から
十二月三十一日まで

戦後福祉国家の建設が叶はれて、この運動が始まつてから、ことしで十六年になりますが、この間に県内からよせられた淨財は二億円という大きな額に達し、いろいろな社会福祉施設や国体に配分され、社会福祉事業の発展のために大きな

役割を果してきました。しかし、また世の中には身寄りのない子や、老人、そしてまた体の不自由な介けない人など、恵まれない不幸な人たちがたくさんあります。私はもちろん、自分自身不幸になりたくない

と同時に、不幸な人がない

としよりを大切に

</

農業をとりまく諸情勢は最近急速に変化してきました。即ち農業基本法で言うた。即ち農業との所得格差をなく他産業との所得格差をなくするためには農家個々が真剣に考え、それぞれに夢を抱いておられることと思います。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。

そこでその夢を実現するには、まず、資金が必要であります。そこでその夢を実現するには、まず、資金が必要であります。

農業の構造(しくみ)を改善して行く計画を立てても推進する資金が伴なはねば夢が夢に終ってしまうでしょう。

今後業種別の専門的當農指導、或は最近特に問題となる組合員である農家の経済を善既ち専門的な販売体勢の整備にしても個々の農協で結果して農家の期待に応え得るか問題であります。

開放経済の中で貿易の自由化は必然的におしよせて来るでしょうし、農業の分野に及ぶ事も明らかであろうと思われます、これに対処するための終局の目標は、どうしても国際競争力に打ち勝つために合理化された近代化された農業経営を組立てる必要があることを痛感されていることと思いま

す。そこで農家の希望を満たす農協として全国的に動き出しているのが農協の体質改善であり、農協の大同団結であると思います。

◎伸び悩む佐賀農業 本県の稻作はかつて「佐賀段階」といわれ、全國而し戦後の農業生産の伸

びは全国一二二%、九州一一大%で佐賀は一一七%と伸び悩んでいます。「みかん」「乳牛」の伸びは全国、九州を遙かにし、米一、〇五倍と推計されます。いわゆる澱粉質から脂、蛋白、ビタミン質えと移行するでしょ

う。

◎地上的な農業人口の流出労働力は申し上げるまでもなく、賃金の低い処から高い効率化されることは当然であり、極端に表現

1. 農家の所得をふやすには選択的拡大が必要

2. 農協中央会シリーズからひらつて見る

3. 農協合併の効果は?

4. 農協の面では、

5. 職員数が

6. 満州開拓殉難者の碑建設さる

7. 十月中行事予表定

1図 産業別就業構造並びに所得構造

就業構造			所得構造		
1次 (189) 46%	2次 (82) 20%	3次 (140) 34%	1次 (2,170) 30%	2次 (1,856) 26%	3次 (3,212) 44%
(144) 34%	(105) 25%	(177) 41%	(3,020) 21%	(4,016) 28%	(7,316) 51%

(())は就業人口・単位千人 (())は金額単位千万円

昭33年 昭42年 昭33年 昭42年

2図 主な畜産果樹の伸びの見込み(基準33年)	
農家	農家
ホルタイン 4.515	7.130頭
ブタ 9.595	25.157頭
ニハトリ 54.600	575.400羽
ミカン 3.850ha	9.020ha

4合併後2年目の実績(35年度)	
販売高	1倍 2倍
手数料率	1.67倍
購売高	1.35倍
貯金	1.44倍
貸出金	1.80倍

すすむ農協合併 三六年度中に合併を決めたのは、全国で二二〇件七八二組合にのぼり、二八年より三五年まで四八一年件、一年間で過去八年間の四割もの合併が進み、農協がけいし農業のうきに對応するための体質改善のあらわれであります。職員の給与も約五千円ベ・アしました。

農協合併をはばむもの 合併すれば不便にならぬ いか 合併しても不便にはなりません。今までの組合は支所としてのこり、必要な事業はとりあつかいます。

農業をとりまく諸情勢は最近急速に変化してきました。即ち農業基本法で言うた。即ち農業との所得格差をなくするためには農家個々が真剣に考え、それぞれに夢を抱いておられることと思います。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。

農業の構造(しくみ)を改善して行く計画を立てても推進する資金が伴なはねば夢が夢に終ってしまうでしょう。

今後業種別の専門的當農指導、或は最近特に問題となる組合員である農家の経済を善既ち専門的な販売体勢の整備にしても個々の農協で結果して農家の期待に応え得るか問題であります。

開放経済の中で貿易の自由化は必然的におしよせて来るでしょうし、農業の分野に及ぶ事も明らかであろうと思われます、これに対処するための終局の目標は、どうしても国際競争力に打ち勝つために合理化された近代化された農業経営を組立てる必要があることを痛感されていることと思いま

す。そこで農家の希望を満たす農協として全国的に動いています。そこで農家の希望を満たす農協として全国的に動いています。

農業をとりまく諸情勢は最近急速に変化してきました。即ち農業基本法で言うた。即ち農業との所得格差をなくするためには農家個々が真剣に考え、それぞれに夢を抱いておられることと思います。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。その夢は部落内で、家庭の中でも、或いはコンサルタント等の利用による新らしくデザインされたものであります。